

## 1日 火曜

### エレミヤ

26:1 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの治世の初めに、主から次のようなことばがあった。

26:2 「主はこう仰せられる。主の宮の庭に立ち、主の宮に礼拝しに来るユダのすべての町の者に、わたしがあなたに語れと命じたことばを残らず語れ。一言も省くな。

26:3 彼らがそれを聞いて、それぞれ悪の道から立ち返るかもしれない。そうすれば、わたしは、彼らの悪い行ないのために彼らに下そうと考えていたわざわいを思い直そう。

26:4 だから彼らに言え。『主はこう仰せられる。もし、あなたがたがわたしに聞き従わず、あなたがたの前に置いたわたしの律法に歩まず、

26:5 わたしがあなたがたに早くからたびたび送っているわたしのしもべである預言者たちのことばに聞き従わないなら、・・あなたがたは間かかった。・・

26:6 わたしはこの宮をシロのようにし、この町を地の万国ののろいとする。』」

26:7 祭司と預言者とすべての民は、エレミヤがこのことばを主の宮で語っているのを聞いた。

26:8 主がすべての民に語れと命じたことをみな、エレミヤが語り終えたとき、祭司と預言者とすべての民は彼を捕えて言った。「あなたは必ず死ななければならない。

26:9 なぜ、主の御名により、この宮がシロのようになり、この町もだれも住む者のいない廃墟となると言って預言したのか。」こうしてすべての民がエレミヤを攻撃しに、主の宮に集まった。



26:10 ユダの首長たちはこれらのことを聞いて、王宮から主の宮に上り、主の宮の新しい門の入口にすわった。

26:11 祭司や預言者たちは、首長たちやすべての民に次のように言った。「この者は死刑に当たる。彼がこの町に対して、あなたがたが自分の耳で聞いたとおりの預言をしたからだ。」

26:12 エレミヤは、すべての首長とすべての民に告げてこう言った。「主が、あなたがたの聞いたすべてのことばを、この宮とこの町に対して預言するよう、私を遣わされたのです。

26:13 さあ、今、あなたがたの行ないとわざを改め、あなたがたの神、主の御声に聞き従いなさい。そうすれば、主も、あなたがたに語ったわざわいを思い直されるでしょう。

26:14 このとおり、私はあなたがたの手にあります。私をあなたがたがよいと思うよう、正しいと思うようにしなさい。

26:15 ただ、もしあなたがたが私を殺すなら、あなたがた自身が罪のない者の血の報いを、自分たちと、この町と、その住民とに及ぼすのだということを、はっきり知ってください。なぜなら、ほんとうに主が、私をあなたがたのもとに送り、あなたがたの耳にこれらすべてのことばを語らせたのですから。」

エレミヤは大胆に主のことばを語りました。それは彼にとっては、危険があったとしても当然のことだったのです。彼は主が永遠の主権を持った方だと知っていたのです。人を恐れず、主を正しく恐れる人の信仰がここにあります。

その預言を聞いた祭司や預言者たちは、彼を非

難しました。主からの警告を聞いた人の反応としては最悪のものです。私たちは主からの戒めを聞いたなら、それに謙遜に従わなくてはなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

